

若い世代の食生活の実態把握について

平成26年度「第1回食の安全安心と食育審議会」（8月25日開催）において、委員より下記のようなご意見をいただいたことを踏まえ、若い世代の食生活の実態について検討を行う。

1 審議会における委員の発言要旨

- (1) 地域で小中高校生を見ていると、問題がある子どもたちの家庭は食生活が乱れていると感じる。お金だけを与えられて、自分の好きなものを買って食べるなど、食生活に問題がある子どもたちが増加している。
- (2) しかし若い世代の食生活については、様々な指摘があるものの、県全体としてどのような実態であるか把握できていない。 早急に実態把握を行い、その対策について考える必要がある。
- (3) モデル校等を決めて限定的に取り組むのではなく、内容が少し薄くなっても構わないので、全県的に取り組むことも大切では。

2 平成27年度事業（案）～若い世代における食育力の向上と健康づくりの推進～

審議会では指摘のあったとおり、兵庫県における若い世代の食生活については、詳細な実態を把握できていないのが現状である。

そこで、望ましい食行動や生活習慣を身につける時期である小中高校生と併せて、その親世代も含めた食生活の実態を把握するとともに、調査結果を踏まえた普及啓発を行うこととする。

【事業内容（案）】

(1) 生活習慣・食生活アンケート等の実施

若い世代の生活習慣や食生活の実態を把握するため、思春期～成人期を対象としたアンケートを実施するとともに、PTAや民生委員・児童委員などの関係者から、聞き取り調査を行う。

(2) 普及啓発テキストの作成

上記調査結果を活用し、若い世代が健全な食生活を実践するために活用できる普及啓発テキストを作成する。